南箕輪村むらづくり委員会（第 31 回）会議録

令和８年２月 10 日（火）午後７時～７時 40 分
場所：南箕輪村役場 講堂

出席者
足立 芳夫 委員（会長）、松田 聖一 委員（職務代理）、山岡 勉 委員、長谷川 義隆 委員、加藤 直樹 委員、高木 武 委員、唐木 茂人 委員、酒井 きよみ 委員、清水 真知子 委員、伊久間 美昭 委員、伊澤 武善 委員、清水 克俊 委員、田口 和弘 委員、小椋 信子 委員、菅家 美果 委員、新村 典久 委員、千 菊夫 委員、富岡 順子 委員、稲生 正徳 委員
（事務局）
地域づくり推進課長　高橋、地域づくり推進課企画係長　北原、企画係　小澤
欠席者
北原 泰司 委員、平野 幸代 委員、橋場 麻衣子 委員、入倉 眞佐子 委員、宮坂 大樹 委員、原 和彦 委員、井口 千鶴 委員、吉川 つづり 委員、三澤 聡 委員

1. 開会

松田職務代理より開会の言葉があり、開会した。

2. 会長あいさつ

足立会長より、寒い日が続く中での出席への謝意が述べられた。
また、今回が実質的な審議の最終回に当たる見込みであり、本日は南箕輪村国土利用計画案の最終確認を行い、3 月 17 日に答申する予定である旨のあいさつがあった。

3. 協議事項

本日の協議事項は、「南箕輪村国土利用計画（案）について」及び「その他」であった。

（1）南箕輪村国土利用計画（案）について

事務局から、計画案本冊及び横長資料に基づき、前回会議での意見を踏まえた修正内容について説明があった。

説明では、まず目次及び構成の整理として、「はじめに」を「策定の趣旨」に改めたこと、あわせて「計画の位置づけ」「計画の構成と期間」などの見出しを追加し、全体の構成を分かりやすくしたことが示された。

本文修正としては、表現の整理や漢字表記への修正に加え、気候変動の影響を踏まえた記述の追記、課題と対策における防災減災対策の重要性の明記、水面・河川・水路に関する「親水性」を「親水機能」に改め注釈を付したこと、空き家や低未利用土地の適正管理・有効活用に関する記述の追加などが説明された。

また、利用区分別規模の目標に関する表現について、本文と資料編との整合を図るため記載の統一を行うこと、上段北部地域における大芝高原周辺について、観光・レクリエーション・交流拠点であると同時に防災拠点としての機能を有する旨を追記したことが説明された。

さらに、北原工業団地については、前回提示案では削除していた記述を見直し、工場が集積する地域であり、拡張等の相談があった場合には支援を検討する旨を記載することとした。そのほか、地域整備施策の推進に関し、近年の気候変動の深刻化や農地等の担い手減少による土地利用管理水準の低下への懸念を踏まえ、適正利用と管理を通じて土地を荒廃させない取組の重要性を明記したこと、商業業務ゾーンでは低未利用地や既存施設の再生に向け、道路インフラ整備等も含めた支援を進める旨に修正したことなどが説明された。

参考資料部分では、利用区分ごとの土地利用推移と目標に関して、令和 5 年の基準年次の数値を追加したこと、数値整合性の修正を行ったことが報告された。
あわせて、図面上の表記位置の調整や、用語表記の統一も行ったことが説明された。

主な質疑・意見

- 委員から、3 ページの「計画の構成と期間」の図について、余白が多いため図を大きくした方が見やすいのではないかとの意見があった。
- また、8 ページの「空き家や低未利用土地」という表現について確認があり、事務局から「低未利用土地」は低利用地と未利用地を合わせた用語であり、総合計画でも使用している表現であるとの説明があった。
- 会長からは、前回計画を踏襲しつつ、現状や第 6 次総合計画との整合を図るために必要な加筆修正を行っていること、特に 12 ページの地域整備施策の推進に関する記述は、第 6 次総合計画基本構想の土地利用構想部分の内容を踏まえて補強したものであるとの補足があった。

協議結果
委員会として、今回提示された修正内容を踏まえた国土利用計画案を概ね了承した。
なお、軽微な修正等があれば引き続き事務局に伝えることとし、答申は 3 月 17 日（火）午後 2 時から、会長及び職務代理により行う予定であることが確認された。

（2）その他

委員から追加の協議事項は特になかった。

4. その他

事務局から、2 月 14 日（土）午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで、村民センター2 階大会議室で、第 6 次総合計画「夢と未来～みなみみのわゲーム～」体験会を開催する予定であることが案内された。

あわせて、今回の委員会が任期中最後の実質的な審議の場となる見込みであり、委員の任期は 5 月末までであること、任期終了後に懇談の場を設ける予定であること、また次期委員について各地区等へ推薦依頼を行う予定であることが説明された。

この中で委員から、2 月 14 日の体験会で扱う「総合計画ゲーム」の内容や活用方法について質問があった。
これに対し事務局から、総合計画を分かりやすく周知することを目的としたカードゲームであり、中学生以上でも扱える内容として作成していること、村の施策や資源配分を考えながら疑似的に政策判断を体験するものであること、今後は学校等での活用も視野に入れていることなどが説明された。

最後に事務局から、委員に対し、総合計画や各種計画の審議に長期間協力いただいたことへの謝意が述べられた。

5. 閉会

松田職務代理より閉会の言葉があり、閉会した。